

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和2年6月 日

作成者：石橋 美奈子

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
阪神南地域ビジョン委員会	
事業名	日時(期間), 場所
杭瀬防災講座Ⅰ(概論編)、Ⅱ(台風編)、Ⅲ(避難編)	Ⅰ 令和元年6月26日
	Ⅱ 令和元年9月11日
	Ⅲ 令和2年1月17日
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
海抜ゼロメートル地帯にある尼崎市杭瀬地区は、台風などの自然災害によって近隣の左門殿川が氾濫すれば、数分で水没する。 同地域での災害を想定し、日頃子供や高齢者が安心できる居場所として様々な取り組みをしている杭瀬古民家を会場に、地域の住民を対象とした防災講座を開催した。 災害が起きたときには近くの建物の3階以上に避難できるよう、防災・減災の講義や近隣小学校との合同避難訓練などを行った。	()人
	参加者数
	(のべ84)人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
実施前、高齢者の大半からは諦めモードの発言が多かったが、3回にわたる講座や小学校との合同避難訓練を通じ、「自分の命は自分で守る、家族のために!」という意識に大きく変わっていった。 開催にあたって、市の関係部署やPTA、小学校などの協力を得ることで、防災・減災というキーワードにより、地域の絆をつなぐきっかけとなった。	
今後の展望(どのように継続, 発展するか)	
・各種防災講座を様々な地域で継続し、地区住民の防災意識の向上を図ることを目指す。 ・杭瀬地区においては、防災活動の芽が出てきており、様々な多世代交流を継続発展させることで、地域住民の意識を高めることができるよう、引き続き応援し、見守っていく。	